

パネル展「美しい砂の世界ー日本の砂、世界の砂、地層の砂ー」概要

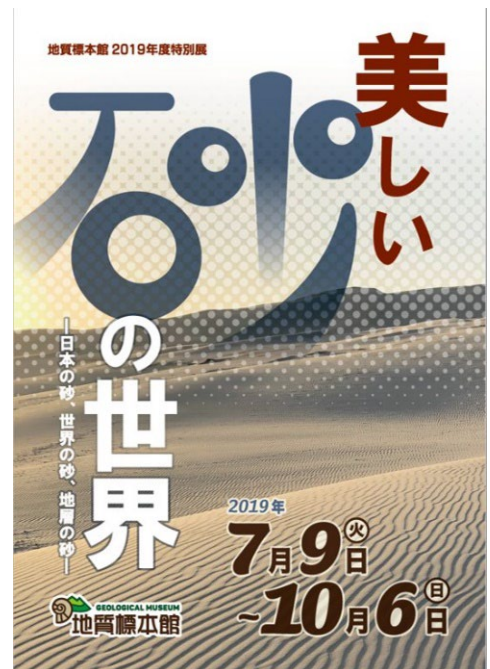
いろいろな地域の砂はそれぞれの表情を持っており、様々な情報が込められています。このパネル展では、砂とは何か、砂から読み取れる地層の情報とは、砂はどのように生活の役に立っているのか、などととともに、たくさんの美しい砂をご紹介します。

【展示の概要】

展 示 構 成 : A0 サイズパネル、21 枚

※1 PDF データを貸与します。

※2 パネルを選択しての展示は不可です。
全体の展示で意図を伝えてください。



【パネル構成】

連番	内 容	パネル枚数
1	タイトル	1 枚
2	はじめに	1 枚
3	砂ってなに？	1 枚
4~5	砂の地層からわかること	2 枚
6~10	日本の砂	5 枚
11~14	世界の砂	4 枚
15	砂漠の砂	1 枚
16、17	大洗公園の海岸と砂	2 枚
18、19	いろいろな色の砂	2 枚
20	鳴り砂	1 枚
21	砂変幻	1 枚

【必要経費】

パネルデータの提供は無料です。パネル等の作成については開催館の負担となります。

【パネル画像一例】

砂ってなに？

●砂ってなに？
 大きさが約0.075mm以上2mm以下のものを砂と呼びます。石でも植物でも石でも植物でも、この大きさのものすべて「砂」です。
 砂は、大きさによって粗粒砂～極細粒砂に分けられています。例えば、グラニュー糖は粗粒砂に相当します。また、黒い色の黒砂(黒鉄砂)は0.25mm、黒い4mmです。

●砂の特徴
 砂は水中で運ばれやすく、運ぶやすいという特徴があります。砂は水に浮いて運ばれたとき、水は砂の間に浮いて運ばれるので、水が流れている川底に溜まりません。川底は泥が溜まっていくので、川底は泥が溜まるようになります。

砂の地層からわかること 2

●水の流れを示す砂
 水によって運ばれた砂は、水が引いた後も、元の水の流る方向を示しています。

●カレントリッジ
 水が砂の堆積層を削って少しずり前に運び、さざめのような形を作りながら移動していきます。水の流れたときこの形をカレントリッジといいます。

●斜交層理
 水が流れていくにつれて、より大きな砂(デューン)ができます。これが堆積していったものを斜交層理といいます。斜交層理から、地層の溜まったときの水流の方向がわかります。

●フルートキャスト
 海底表面の波が強い水流で削られてくぼみができ、その上に砂が溜まって堆積(堆積)になります。その結果、堆積が繰り返されて削り取られた部分の断面が露出されるような特徴的な形に水流の方向がくぼみ(フルート)に現れます。

●フルートキャストの岩石標本があります。ほし出して見てみてください。

日本の砂

日本列島各地の砂の産出。代表的なもの50を挙げてみました。砂が産出している場所を50ヶ所以上、各産出地の産出量は1.5cm、幅2.0cmです(約5個)。

●北海道：釧路沖
 北海道の沖合に産出。カレントリッジに由来する。粒径0.075～0.2mmの粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体で、粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体。

●北海道：小樽沖
 北海道の沖合に産出。カレントリッジに由来する。粒径0.075～0.2mmの粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体で、粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体。

●北海道：釧路沖
 北海道の沖合に産出。カレントリッジに由来する。粒径0.075～0.2mmの粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体で、粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体。

●北海道：小樽沖
 北海道の沖合に産出。カレントリッジに由来する。粒径0.075～0.2mmの粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体で、粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体。

●北海道：網走沖
 北海道の沖合に産出。カレントリッジに由来する。粒径0.075～0.2mmの粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体で、粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体。

●北海道：七重島
 北海道の沖合に産出。カレントリッジに由来する。粒径0.075～0.2mmの粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体で、粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体。

●北海道：長谷川河口
 北海道の沖合に産出。カレントリッジに由来する。粒径0.075～0.2mmの粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体で、粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体。

●北海道：長谷川河口
 北海道の沖合に産出。カレントリッジに由来する。粒径0.075～0.2mmの粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体で、粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体。

●北海道：長谷川河口
 北海道の沖合に産出。カレントリッジに由来する。粒径0.075～0.2mmの粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体で、粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体。

●北海道：長谷川河口
 北海道の沖合に産出。カレントリッジに由来する。粒径0.075～0.2mmの粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体で、粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体。

●北海道：長谷川河口
 北海道の沖合に産出。カレントリッジに由来する。粒径0.075～0.2mmの粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体で、粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体。

●北海道：長谷川河口
 北海道の沖合に産出。カレントリッジに由来する。粒径0.075～0.2mmの粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体で、粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体。

●北海道：長谷川河口
 北海道の沖合に産出。カレントリッジに由来する。粒径0.075～0.2mmの粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体で、粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体。

●北海道：長谷川河口
 北海道の沖合に産出。カレントリッジに由来する。粒径0.075～0.2mmの粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体で、粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体。

●北海道：長谷川河口
 北海道の沖合に産出。カレントリッジに由来する。粒径0.075～0.2mmの粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体で、粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体。

●北海道：長谷川河口
 北海道の沖合に産出。カレントリッジに由来する。粒径0.075～0.2mmの粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体で、粗粒中粒砂が主体。粗粒中粒砂が主体。

※地質標本館のウェブページ内で、たくさんの世界の砂、日本の砂、砂漠の砂などの写真を紹介し、解説しています。こちらも併せてご覧ください。

・世界の砂の日本の砂
<https://www.gsj.jp/Muse/sand/index.html>

【備考】

- ・展示開催の際は、産業技術総合研究所への後援名義申請及び終了後の報告が必要となります。承認の手続きに2か月程度かかる場合がありますので、余裕をもってお申し込みください。
- ・貸与データの使用許諾は申請展示期間のみとなり、展示期間終了後データは破棄いただきます。

【問合せ先】

国立研究開発法人産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地質情報基盤センター
 担当:地質標本館室 藤原 E-mail: hyohon-kan-ml@aist.go.jp